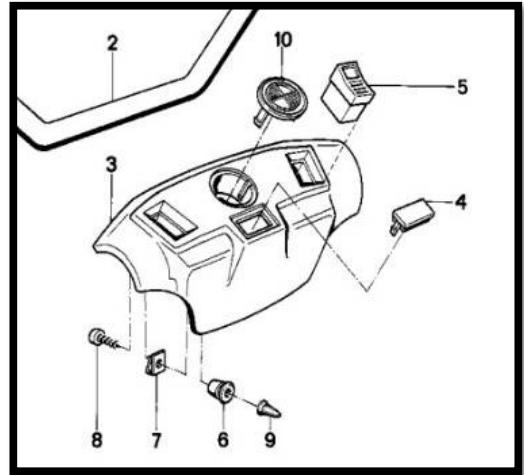


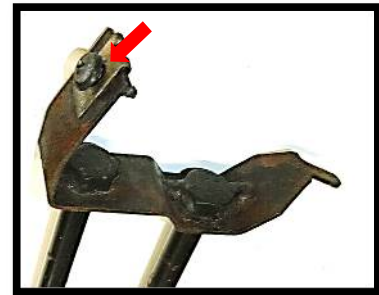
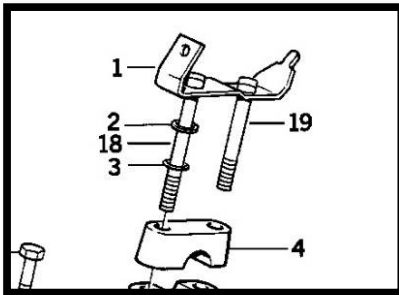
## クラッシュパッド固定方法 モノサスR65/80/100/RT

モノサス当該モデルにはクラッシュパッドなる部品がハンドルポストを覆うように装着されています。アクシデント時のライダー保護の用途のほかにメインスイッチやオプションスイッチの取り付けベースの意味合いもあります。(RTのメインスイッチはカウル側に移設) このパッドの脱着にはドライバーでタッピングネジを緩める必要がありますがスピードメーターが邪魔をしてけっこう面倒くさい作業になります。カウル付モデルはなおさらです。後年になると構成部品は同じですが発想を変えて固定するようになりクラッシュパッド脱着は超絶時短作業になりました。



ドライバーを矢印の方向から差し入れますがメーターが邪魔で作業困難

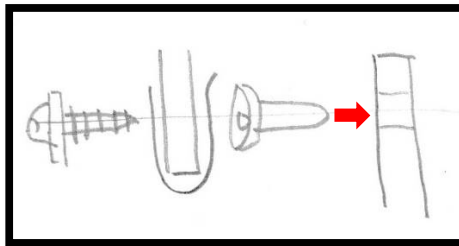
パーツリストも順番が不適切



ハンドルポストの上に角が取り付く

長方形スイッチはハザードウィンカー用

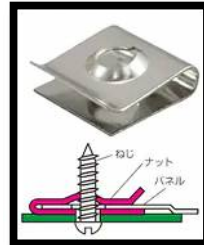
隙間にパッドを挟み締め込む



当初のネジ止め式 緩むと外れる

改良型 部品はそのままハマ込み式に

パッド側に突起誕生



RTにはIG・スイッチの代わりにマーク

スピードナットとも呼ばれる

RS用はハンドルバーに嵌めるだけ

クラッシュパッドは樹脂製のため柔軟性があります。取り付け時にすこし開いて突起を角の穴にセットすればガタツキもなくジャストフィットします。